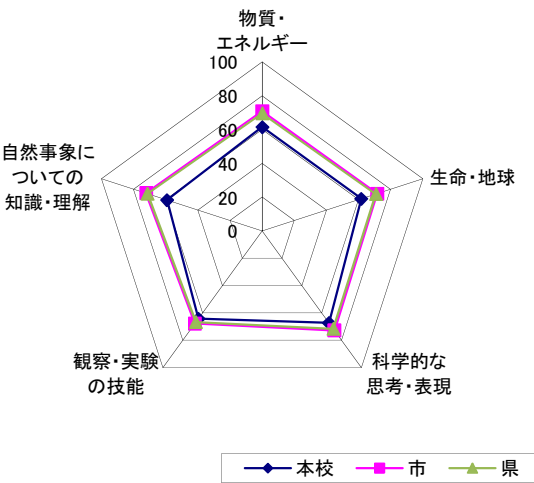


宇都宮市立上河内東小学校第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	61.5	70.8	69.5
	生命・地球	61.7	71.5	70.8
観点	科学的な思考・表現	67.3	72.8	71.7
	観察・実験の技能	64.3	67.8	66.8
	自然事象についての知識・理解	59.2	72.3	71.4



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○アルコールランプの使い方、金属が温められると体積が大きくなることの理解について、正答率が高く、市の正答率も上回った。 ●水の状態変化の理解についての正答率が低く、市の正答率も下回った。 ●2個の乾電池の直列のつなぎ方の理解について、正答率が低く、市の正答率も下回った。	・デジタル教科書や動画などを活用することで、子どもの興味や関心を高めるよう心がける。また、実験や観察などをできるだけ実際に行うことで、体験的にわかる授業の工夫をしていきたい。 ・水の状態変化については、季節の気温の変化と関連させたり、日常生活の中での現象と結びつけたりして、授業以外の場面でも扱うようにする。 ・5年の「電流のはたらき」の学習のときに、電池のつなぎ方を復習し、理解させていく。
生命・地球	○空気中の水蒸気や水の自然蒸発の実験結果を身近な現象と関連付けて考えることは、市の正答率と同程度であった。 ●人の体のつくりと運動、季節と生物の理解について、正答率が低く、市の正答率を下回った。 ●月と星について、月の動きや形の変化については、おおむねできていたが、星の動きについては正答率が低く、市の正答率を下回った。	・人の体のつくりについては、6年での学習の際に触れるようにし、理解につなげる。 ・冬の夜空や夏の夜空など、季節ごとの夜空の星や星座を見ることを意識付け、興味をもたせていく。